

(合同) 第2回総務部会・第4回学校運営部会 議事録

(1) 日 時：令和5年10月13日(金) 午後7時より、(教育会館 第4研修室)

(2) 参加者：委員(16名)(2名欠席)、事務局7名

(3) 内 容

① 部会長あいさつ

② 資料説明及び意見交換

・ 校名候補の選定について

・ 制服・体操服の仕様について

《部会長あいさつ》(省略)

《資料説明及び意見交換》

(校名候補の選定について)

部会長 ・まず今日の進め方について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局 ・本日は2つの項目についてご協議いただきたい。1つ目は総務部会関連の議題として、新中学校の校名選定について9月28日に開催した合同部会において、校名候補の絞り方を決めていただいたので、今日は校名候補を10候補程度に決定していただきたいと思っている。2つ目は学校運営部会関連の議題として、制服・体操服の仕様についてご意見をいただきたいと思っている。校名については総務部会、制服・体操服については学校運営部会の議題となっているが、本日は合同部会という形式を取らせていただいているので、どちらの案件に関しても、全員の皆様からご意見をいただいて、決議に関しても両部会で決めさせていただきたいと思っているが、よろしいか。ご確認いただいた後、協議を進めていきたいと考えている。どうぞ、よろしくをお願いしたい。

部会長 ・合同での決議ということについての提案はよろしいか。それではレジュメに沿って進めたいと思う。すごい数の校名が皆さんの自由な発想で上がってきて、すべて皆さんの期待の高さを表すものでもある。自分自身でそれを考えなければならないということで、今日のこの後の話になるのかなと思う。

事務局 ・校名の選定についてご説明する。手元の資料の1ページ、2ページの部分をご覧いただきたい。要項に従うと校名については総務部会において校名候補を10候補程度に絞り込み、児童生徒による投票を行うということになっている。前回の協議によって8票以上の入ったものと、少数であっても委員の皆様から推薦いただいたものを候補という形にさせていただいて、その中から10候補程度に絞り込むことをさせていただきたい。この10候補の一覧表になっているがこの14候補が上の10番目までが8票以上のもので、下4つが委員の皆様からご推薦いただいたものである。この中で10候補を絞っていただきたいが、事務局として少し気がかりなところがあるので、その点だけご説明をさせていただきたい。まず資料の10番目の勝山市立中央中学校、それから12番目の勝山市立九頭竜中学校であるが、この2つに関しては、1つ目は鯖江市に、それから12番目の方は新設される福井市の中学校が九頭竜中学校ということで、それを踏まえてご協議させていただきたいと思っている。なお児童生徒の投票の詳細については、先般ワーキングチーム会議に

	<p>においてその決め方の詳細を検討いただいた。1 ページ目の下の方 2 番、投票についてと書いた部分だが、その詳細についてこれでよろしいかどうかをご意見いただければと思う。</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・まず最初に事務局の説明に対して質問があるか。確認だが 10 候補というのは 10 個決めるということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・10 候補程度ということ。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・14 は 10 程度ではないということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの校名が出てきたのと同じで、皆さんいろいろなご意見があると思うので、ぜひ出していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんの言葉が出てくる前で恐縮だが、事務局の方から申し上げた現在ある学校の名前をどうするかということについて話していただきたい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・10 番と 12 番になる。勝山市立をとって学校名だけでいうと中央中学校は鯖江にある。九頭竜中学校は福井にできる。勝山を入れるか入れないかもある。また、候補として出してしまってもいいのではないかという意見もある。皆さん、いかがか。
委員 1	<ul style="list-style-type: none"> ・鯖江や福井の人は怒る人もいると思う。
委員 2	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的には九頭竜はよくないと思う。
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> ・やはりない方がいいと思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・理由があればどうぞ。
委員 4	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり同じような名前があるのは気になる。
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的な意見になるかもしれないが、同じ名前をあえて付ける必要はないと思う。先日はワーキング会議にも参加していたが、否定的な意見を言う方もいた。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にはどうか。なくてもいいという意見が多いがいかがか。
委員 6	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達にとってもどうなのか。進学して高校に行った時に出身校がわからない。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども達にとって」はいい視点。先ほど県外視察に行った話をしたが、学校はどこかなと思って学校名だけを入れたら日本中にたくさん出てくる。私は足羽第一中学校出身である。足羽中学校ができて、足羽第二にするという話があったらしい。同じ名前だと地元の方はいやだと言う。それは中央も同じように考えられるというので、推薦いただいた委員さんもいらっしゃるが、10 番、12 番は候補からなくすということによろしいか。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・あとはいかがか。これで 12 になった。
委員 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつ気になることがある。成器というと、勝山藩の藩校ということを知っている。城下が対象の名前だが、なじみがない所もある。
委員 8	<ul style="list-style-type: none"> ・西と南にしか成器とはついていない。
委員 9	<ul style="list-style-type: none"> ・北郷とか北部地区はあまり関係がない。
委員 10	<ul style="list-style-type: none"> ・他のところでは成器という言葉に対してなじみがあまりないと思う。勝山市全域に通して成器という名前が入ったときに、件数は結構多いから、認められているのかなと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・その辺のところも気になるかなと思う。
委員 11	<ul style="list-style-type: none"> ・野向とか平泉寺は勝山藩ではないのではないか。

- 委員 12 ・城下町だがいろいろある。村部の方では、成器は全然なじみがない。
- 部会長 ・そういうことか。藩校として成器の方で行ってしまうと風当たりはあるかもしれない。子ども達も知っているのか。
- 委員 13 ・有名な話だが知らない。
- 部会長 ・知らないのか。
- 委員 14 ・成器は何を意味するのだろうかと思う。自然に耳には入ってくるが意味はわかっていない。
- 委員 15 ・中学校でそういう教育をすれば変わってくるのかなと思う。知っているか知らないか、子ども達にしてみると成器は初めて聞いたという。
- 部会長 ・子ども達はあまり知らないのではないかということだが、あえてあと2つほど減らす必要があるのか、10程度で対象として示していくのか、それでもいいのかと思う。
- 委員 16 ・中央だが、先ほどの理屈で言うと勝山中央は鯖江の中央と一緒にではないか。勝山中央、勝山市立中央なのかということと同じで、足羽第一と足羽の候補を選ぶのと同じになる。
- 部会長 ・足羽と足羽第一みたいな意味になる。いかがか。成器のほうは残しておいて、中央というのも9番目と10番目の違いがある。勝山中央のほうがいいという方はいらっしゃるか。ここで中央という文字がついているということで、9番も消えるとしてもよろしいか。中央とついている9番、そしてそのままの中央とついている10番は消える。残り11になる。
- 委員 17 ・やはり成器は数が多いが、町の人が成器がいいとなった時に村部のかなりお年寄りが反対されると思う。
- 部会長 ・仮に町の人が成器がいいとなると、数的には負けてしまう。そのままの気持ちで走ると、勝山市みんなでという部分では課題があるのではないか。
- 事務局 ・単純に次のステップとして投票結果だけで決まるのではなくて、その後総務部会で3候補を決定し、再編準備委員会で承認してその上で市総合教育会議で決定する。
- 事務局 ・何段階かステップがあるが、その際にはここで出たご意見というのは、付け加えるといい。投票の時はいらなと思うが、投票で三つに絞られた後の部分で、ぜひそういうご意見があったということは伝えていただいていた方がいいと思う。
- 部会長 ・三つに絞って、その地区の思いはぜひお伝えいただくということで11で実施するというところでよろしいか。では、そのように考えてこの後進めていただけたらと思う。
- (制服・体操服の仕様について)
- 部会長 ・次は制服・体操服の仕様についてに入る。これも事務局の方から説明をお願いします。
- 事務局 ・制服・体操服の選定についてご説明を申し上げます。前回第3回学運営部会・第2回施設整備部会の合同部会において、アンケートの結果を基に、制服・体操服は指定をするというご決定をいただいている。また、制服の型については、ブレザーの方がいいのではないかというご意見が多かったが、やはり、このアンケート結果を重視すると、詰襟・セーラー服を希望する子ども達も

いるということで、両方を提案すべきではないかというようなご意見にまとまった。この決定を踏まえて作成した仕様書をこの後検討いただきたいと思う。その仕様書の説明に入る前に3ページ、4ページの資料を使って少し今後の流れ等を説明させていただきたい。まず3ページの要項をご覧ください。仕様書が確定すると、これを基に提案業者を募集する。要項の中では、検討方法の2という部分だが、提案業者が各社数セットの提案をしていくと、かなり多くの候補が挙がってくるということになる。それを募集した後、数点の候補を選定することになっている。今後、学校運営部会の皆様方には提案された候補の中から実際に投票を行う候補を数セットに絞っていただきたいと思う。投票方法については要項の通りだが、具体的な投票方法についても先般ワーキングチーム会議において先生方のご意見をいただいた。小中学校で制服・体操服を展示するのは1週間程度として、その後児童生徒に投票をいただくことがいいのではないかとご意見をいただいている。このような流れも踏まえて、この後の仕様書の協議をよろしくお願いしたい。なお仕様書については、次の点についてご協議をいただきたいと思う。1つ目は制服を選定する場合にいくつか重視する点を決めた。これが適当かどうか。2つ目は価格の設定が適当かどうか。3つ目は今ほど申し上げた展示をする場合に現在の詰襟・セーラー服を希望するという意見もあったので、現在の詰襟・セーラー服を加えるという仕様としているが、適当かどうかをご協議いただきたいと思う。詳しくは今から仕様書を説明するので、こちらをご覧くださいながら、併せて協議のポイントを確認させていただきたい。

事務局 ・私の方から仕様書の方を説明させていただく。まず制服の仕様書を説明させていただくので、勝山市立中学校指定制服募集仕様書（案）の方をご覧ください。

（勝山市立中学校指定制服募集仕様書（案）について説明）

- ・趣旨：令和7年度入学の中学1年生から着用可
- ・選定の概要
- ・募集する品目
 - ①ブレザー型制服
（ジャケット、スラックス、スカート、ネクタイ、リボン）
 - ②詰襟・セーラー型制服
（詰襟、セーラー服、スラックス、スカート、リボン）
- ・制服選定に関して重視すること
 - ジェンダーレスに対応できること
 - 温度調整が容易であること
 - 耐久性や経済性に優れていること
 - 手入れが容易であること
 - 動きやすいこと
 - デザインが優れていること
- ・指定制服募集のスケジュール
- ・参加資格要件
- ・試作品の提出について

	<ul style="list-style-type: none"> ・質疑事項 ・審査について ・その他留意事項
部会長	・説明に関して質問等はあるか。
委員 1	・ブレザーと詰襟の両方を募集するのは決定事項なのか。前回部会に出ていないので分かっていないが、そこで決まってしまった話なのか。
事務局	・一応前回の合同部会において検討した結果、決定ということにはなっている。ブレザーに関しては、かなり賛成意見があった。詰襟に関しては、今の詰襟を希望するという%と、新しい詰襟を希望するという%があった。それを合わせるとブレザーよりも多いということで、どのように決めるとよいかということをお前回学校運営と施設の合同部会で話した。ブレザーと詰襟が票が分かれてしまった可能性があるため、どちらもモデルを提示して生徒に決めてもらった方がいいのではないかということで、その会議が終わった。
部会長	・本当に決まったという形ではないのか。
事務局	・会議の最終的にはそうである。会議の終わりにそういう話をいただいたので、基本的にはその会議として決めたということだ、しかし議論は一切許さないというものでもない。
委員 2	・なぜそういう話をしたかと言うと、欠席で申し訳なかったが、いただいた資料を拝見させていただいた。確かにブレザーが一番多い。例えば小学校保護者、教職員はブレザー、中学生で詰襟・セーラー服が多かったということである。既存の詰襟が生徒はいいという。中学生はもし新しい生徒になった時に詰襟を選ぶとは限らない。ブレザーを選ぶかもしれない。現在の中学生は今既存の詰襟を着ているから、このままでいいと言っている可能性が十分あると思う。もう一つ言えるのは今の中学生はもう関係ない。新中学校の生徒になる小学生を見ると小学生は圧倒的にブレザー、半分以上はブレザーだったと思う。そういうことを考えると、どちらも選ぶということはやめたほうがいいのではないか。
委員 3	・できればもう一回ここで結論を出してもいい。詰襟は詰襟でもいいが、自分はブレザーだと思っている。
部会長	・中学生を外せば完全にブレザーなので、ここはブレザーにすべきかなと思っ てはいるが、ここはご協議いただいて学校運営部会でどちらも作るとか、それはやめたほうがいいんじゃないかなと決めてはどうか。
委員 4	・例えば今の小学生が中学生になる時に、150着作れると言うとアンケート結果では100人がブレザー、50人が詰襟になる。多くてもかなり嫌がるのではないかと。そういうことも考えるともう一回ご議論いただいたほうがいいのではないか。
委員 5	・結果はアンケートによらないと書いてあるが、今中学生にアンケートをして圧倒的に詰襟とセーラー服がいいとなったら、詰襟とセーラー服にしていなければならないと思う。数によらないと言って圧倒的な差がついているのにアンケートは一体何だとなるのではないかと。だから、こうなった場合には詰襟とセーラー服をまたやるという可能性もある。
委員 6	・ワーキングチームの話題だが、実際問題としてジェンダーレスに対応していこうとなった場合、入り口が女の子はセーラー服で男の子は詰襟と言われて

いると、どうなるのか。ジェンダーレスに対応できていないという議論にもなった。詰襟を着たい女の子は詰襟を着て、セーラー服を着たい男の子はセーラー服を着ればいいのかという理屈は通るが、現実はそのほとても大きなことだと思う。理屈だけではない。僕は男の格好をしているが、女性ですとみんなが言うようなものなので、過去5年でもこれだけジェンダーフリーのことが問題になって、これからこの学校は10年、20年ある。どうなるのかという議論が実際に出了。大野市は今3つ中学校をなくして来年4月から2校になるが、プレゼンをしたと聞いている。そういうことも考えてちょっと矛盾しないかという件は、実際ワーキングチームの中で言っている。

部会長 ・今の話では身体は肉体的に男だけど心が女の子もいるし、肉体的には女の子だけど心が男の子もいるので、最初からバイアスをかけることはどうなのか。詰襟を着てみたい、現実にそんな子がいる学校もいる。スタートして1、2年はいないかもしれないけど何年かするとあるかもしれないし、今のご意見については少しおかしく思うが、一部としてはどうなのか。もう一回ここで話をしたらどうだという意見があるが、それに対しては、前回の第3回学校運営、第2回施設整備合同会議がなくなることになる。

事務局 ・前回の会議の決定という言い方をさせていただくが、ブレザー型と詰襟・セーラー服型の両方を提案してもらって投票でということだったということなので、今回の仕様書は両方を提案できるという形にしている。誤解がないように申し上げると、両方を提案しろとは書いてなくて、一業者についてそれぞれ2提案までということだから、どんな業者が手を上げるかによるが、ブレザーだけで提案してくるところもあるかもしれないし、それは提案いただいた後で数を見て、必要に応じてまた部会の方で絞り込みをして投票と考えているというのがこの仕様書の提案である。もう1点は両方提案するからといって最終的にはどちらかに決めるということで、ブレザーはこれにして、詰襟はこれにしてどっちを選んでもいいよということは考えてはいない。先ほど仕様書の説明の中でこういう形でどうでしょうかということと合わせてアンケートの中でも機能性とか温度調整とかジェンダーレスとかという項目も取っているんで、それも重要視することに掲げていることで仕様書を作っている。ただ今ご意見もあったので、必要があればもう一度再確認というようなご協議はしていただければ結構かなと思っている。

委員7 ・決めるのは3の募集する品目になる。ブレザーがいいという話もあったが、一方で価格がブレザーの方が高いのではないか。

事務局 ・価格の面については、今のところここで提示させていただいているように、ブレザーだから高いとか詰襟だから高いというようなことは今のところは想定していない。

委員8 ・確かにどんな素材を使ってどんなデザインをするかで価格は動く。子ども達のアンケートで決めるのか。

事務局 ・今の件については、資料の3ページの方に投票とあって、学校向けにより提案された候補について、市内の教育機関に在籍する児童、生徒とその保護者及び教職員による投票を行うということで、その投票結果を参考に学校運営部会で選定することになっている。

- 委員 9 ・園児は入らないのか。
- 事務局 ・入らない。園児は直接投票するのではなく、2の(3)の具体的なことが4になるので、園児の保護者の投票になっている。
- 委員 10 ・仕様書の1ページの(3)で税込み4万円以内の価格にしている。同じ資料の最終販売をどういう意味合いに考えているのか。
- 事務局 ・特にないが、これはあくまで業者用の仕様書なので、制服は製造業者が作って卸しを2回くらい通って保護者が買うので、少し難しい言い方だが、保護者が買うときの金額で提示してほしい。あとで価格表の金額と違うと困るのでそういう表現にさせていただいている。
- 委員 11 ・1ページ目の4つ目は同じ印で書き方を統一しなければ大丈夫なのか。
- 事務局 ・直させていただく。
- 委員 12 ・市内の小売店で販売するように10月23日に提示して11月2日までに小売店以上の販売事業所を決めるという意味合いで書かれているのか。
- 事務局 ・そうである。
- 委員 13 ・期間がないのではないかと。想定される業者は何社くらいあるのか。業者が厳しいなと思って競争が働くのか、1社しかないのではないかと。よくわからないが、何社くらいを考えているのか。
- 事務局 ・基本的に制服メーカーが3、4社はあって、ここに書いてあるように、市内で製造しているような業者が応募していただければということで4、5社は入ってくるのではないかと考えている。
- 委員 14 ・勝山に本店があるというのは本社があるということだと思ふ。勝山にはどれだけあるのか。
- 事務局 ・参加要件は2つあって、いわゆる大手であれば、福井県内の中学校に納入実績がある制服業者であることがあてはまり、全国展開している会社もくるし、市内業者も市内でチャレンジしようという会社も来るかなと思っていて、それがだいたい4、5社あるのではないかと想定はしている。
- 委員 15 ・これまで経験ある会社と経験はないが勝山市内の会社ならいいということによろしいか。
- 委員 16 ・スケジュールは大手に聞いたのか。
- 事務局 ・基本的に大手に聞いたところを逆に後ろ倒しして余裕を持たせてやっている。
- 委員 17 ・これでも市内業者は多分これ難しい。大手みたいにいつも作っているところならこれはできるけど、勝山市内でチャレンジしてみようという業者があれば、このスケジュールで試作品を作るまでは非常に厳しいのではないかと。
- 事務局 ・1ヶ月ぐらいずらすのも大丈夫ではないかと思っはいる。
- 委員 18 ・ギリギリまで後ろ倒ししてもいいのかと思う。一から作ると間に合うかどうか分からないが、決めるのはしっかりとできていいという気がする。
- 事務局 ・大手から聞いている話だが、私たちが目指している令和7年の4月1日に制服を着ていこうと思うと来年の5月いっぱいまでに完全にこの型でこういうもので、例えばボタンもこれでエンブレムもこれだというのが決まっていなくて納品が大手でも難しいと聞いている。それを逆算すると最終業者決定はどんなに遅らせても年度を超えた4月末ぐらいではしないと着る制服がないことになる。業者が決まるかどうかは分からないがいないような状態が起

	<p>きてしまうと先般の報道であったが、都会の学校の制服が入学式までに納入されなかったという事例もあるので、そこがデッドラインとお聞きしている。</p>
委員 19	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試作品だけでも期間をのばしていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の想定は極力支障のないようにということで考えているが、状況を少し考えてもう少し遅らせることができれば、必ずチャレンジする方々にも余裕があるようになるというように思う。日程的なものは少しお任せいただくということでお願いしたい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日程が少しタイトだとは感じている。県立学校に関わった日程から言うと、日程の厳しさがあって結局業者が決まっていって出来レースというか、参入する業者を除外するための日程編成じゃないかというのを、例えば議会で聞かれたり指摘されたりということもあったので、そこはちょっと十分考えられた方がいい。説明も気をつけてされた方がいい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大手3社、4社に聞いての話で一社と話しているわけではない。地元でも複数社が入れないようにしているのではないかという意見が出てくる可能性があるのかなと思う。4万円はどうやって聞いたのかと言われるかもしれない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少し補足的な説明をさせていただくが、委員の皆様方は制服について考えられたこと、触れられたことはあまりないのではないかと思ひ、参考資料として新聞の記事をお送りさせていただいている。一番後ろの資料だが、日本経済新聞に紹介されているが、金額についてはいろいろ分かれている現状である。この4万円という額は、先ほど説明させていただいた。現時点での制服の価格が3万円7、8千円程度、4万円というものもあるが、その程度になっているので、現状と大きく変わらないようにその価格を設定している。見ていただくと、3万円から4万円というのは3万数千円というのがほぼ中ほどの価格なのだろうということで、想定をさせていただいている。参考までに他のところを言うと、大野市は5万円までという設定をしている。それは元々現時点でも大野市の制服は若干高めに設定されている。それをベースに予算を出されているので、基本はいろいろなところを考えながらも、現状と大きく一脱しないようにと価格設定をさせていただいている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価格設定については適当かということを検討してほしいところで、今の説明があったところだが4万円はどうなのか。
委員 20	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでも高いと感じる方はいると思う。例えば制服以外に必要な経費のトータルで考えるので全部で5万円だったりするのか。制服のほかに必要な細々したものを入れると結構な額になる。例えば買い替えるのは男子の方も多くないし、女子もほとんど買い替えない。逆に安くしてもすぐに安くなるわけではない。自分としてはお金は適当と考えている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価格については、その辺りを目途にすることによろしいか。もう一つ事務局から協議してほしいと言われているのは、制服の仕様書で言うと1ページの4の制服選定に関して重要視することである。これはいずれ制服等を決定する学校運営部会とか準備委員会での観点ということになる。これもこれによろしいか。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ あと一つ、制服の場合はよくわからないが、耐久性という部分についての定

	量的な評価値というものはあるのか。耐久性と言われたときにどうやって評価値を比較するのか。よくわからないが業者も持っていると思う。どういう説明をしているのか。
事務局	・今おっしゃったように業者はいろいろ引っ張って耐久値なんかを求めているが、基本的にどのメーカーも普通に着ていけば破れるようなことはない。基本的に皆さんもあると思うが、自分の子ども達とか自分が着たものを誰かにお譲りしているという現状もある。耐久性と書いてあるが、10年スパンとかで見るようなものではないとは思いますが、言いたいのは3年間で買い替えなくてはいけないようなものはダメですよということを申し上げたいということで、ここに書いている。
部会長	・素材によってもいろいろ変わる。
事務局	・丸洗い可も書いてある。
部会長	・そうした時に耐久性と関連性がいろいろ出てくるのかなと思ってクリーニングはする。ある程度持ちこたえられるが、自分の家の洗濯機で回すとなると、実際その辺の耐久性との関連がいろいろな人によってにくい部分があるという感じがする。4の6つの観点についてはよろしいか。
委員 21	・ジェンダーレスに対応することという評価基準に対して詰襟を選ぶことが矛盾してしまう結果になる。
事務局	・ジェンダーレスに対応することがすごく大事なことだと思う。
委員 22	・これを出すのであれば、前回の話では詰襟とブレザーで検討するということはそれでいいと思う。
事務局	・ただこれがすごく引っかかっている。
委員 23	・多分ブレザーにしたいのだろうという意図を感じる。ここに入れるということはいい。社会的にも正しいことだが、それならばブレザーで提案してくださいと言った方が業者としては楽なのではないかと意見として言う。
委員 24	・多数決の結果は大事にしたいが、今後のことを考えれば、生徒に説明することも大人の責任なのかなと思う。ブレザーの説明をやめないというわけではないが、意見として言った。
部会長	・ジェンダーレスに対応できることの考え方というか、定義というか、言葉の意味付けは諮っておく必要があると思う。それぞれジェンダーレスに対応できることが、一人一人違うイメージを持っていると話が終わらないので、勝山市としてジェンダーレスに対応できるというのはこういう意味であるという共通理解する部分は必要だと思う。
委員 25	・結果的に業者が全員ブレザーを出してくるという可能性もあるのではないかな。それだったらブレザーで選ぶという話になるかもしれない。
部会長	・それはそういうことではない。ジェンダーレスの立ち方にすると、いろいろな人に対応しているユニセックスみたいな感じになってしまうというのではなくて、いくつもの中から自分が期待するものを選べるんだという。それこそLGBTに対応しているという考え方もあると思う。その考え方もそれぞれがちよっと違ふとその話が噛み合わなくなってしまうこともあるので、いずれ決定するまでには、当然みんながジェンダーレスに対応しているという委員の理解は必要になる。それを今日この時間でするのは難しいと思う。今の話、委員の皆さん方のご意見を聞いていくとありがたいと思う。

- 委員 26 ・今の詰襟・セーラー服の話でいえば、男子が詰襟を着て、女子がセーラーを着るといふ印象があるからどうしてもそうなっている。例えば校則に詰襟はAタイプでセーラー服がBタイプで、どちらを着てもいいですよと印象を持つ方がジェンダーレスというように思っている。
- 部会長 ・背景とか経験値とかでそう思われていると思う。経験値でいろんなバイアスを持ってしまうのでいろいろなことを皆さんでお話ししていただいている。いろいろな考え方を利用していくのが大事だと思う。
- 委員 27 ・当然経験値とはいえ男の子が詰襟を着る、女の子がセーラー服を着ると事実上なっている。詰襟やセーラー服を生徒が選んで学校で着る。これから先を考えるとときにどちらが良いのかなと考えるとLGBTQの子ども達は7%程度いると言われている。これもどうかかわからないが、それぞれのレベルで違和感を感じている子たちが一番暮らしやすい服はどっちかなと考えると、スカートが嫌だなと思っている子がいた場合、ブレザーならズボンを着やすいのかな。当然これまでの経験の話だけだが、結構ハードルが高いのではないかな。男の子でズボン嫌だなというのもハードルが高い気がする。これから続く学校という中で、すごく行きにくい子がいた場合、どちらの方が行きやすいのかなと考えるとどうなんだろうなということには正直思う。
- 部会長 ・その子が着たい服を着れるような雰囲気、集団であるかどうかということかなとも思う。もちろん着たい服を着ることは正しいことだし、間違っていないが、いきなりハードルをさげたりする子が勝山にはいないかもしれないが、県外でも高校でも女の子が詰襟にしているケースもあるし、逆のケースもあるので、中学校の時には表現できなかったかもしれない。おっしゃらないが、皆さん経験があるというのは、中学校で長年勤務していた場合にある。7%というのはいろいろな話ではあるし、10%までいっているということもある。100人いれば10人前後がいる可能性があるかなと思う。発言も、学校の肌感覚としてそうなのかなと思っておられるということだと思ふ。
- 委員 28 ・壁を低くしてあげるのはどちらか。勝山に育っていて、男の子がスカートを履くのはやはりすごい勇気のいることではないか。その考え方が違うと言われるかもしれないが、現実にこの地域でそれができるか。スカートを履けばいいよというよりもブレザーの方がその子にとっては行きやすいのではないかな。男の子にしてもその服の方が抵抗がないというか、やりやすいのではないかな。体も男だけど、ブレザーを着て、下にスカートを履けばいいということではないか。同じだと違いがないから分かんない。基本上と下をブレザーとズボンで男女が同じものを着ていけば外からは変な言い方だが、違うとは見られないことがない。
- 部会長 ・それは多様性、多様な他者との違いを認める。そこから外れてくるような気もする。勝山という僕は住んだことがないので外から見たら不安になる。噂が広まるとか、心配もする。
- 委員 29 ・東京でやるのと勝山でやるのでは違うのではないかということではないか。東京だといろいろな人がいる。女性の服を着た人たちが行動をすると勝山で第一号になるということだと思ふ。
- 部会長 ・それはそれで分かるが、住みにくい街だと言うことになる。いろいろな人に

	<p>としては、結果的に周りの目を気にして住みにくい街だという話になっていくのではないかと思う。</p>
委員 30	<ul style="list-style-type: none"> ・業者がどのように出してくるか。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人いろいろな子がいて一人でもつらい思いをする子がいなければいいなどと思って話している。その可能性を見つけないといけないなど思っている。ここで実際目の前の制服があって決めるわけではなく、懸念しているのは誰も出てこないことではなく、出てきた場合を心配している。それがないのならいいが。 ・あと気になっているのは制服購入予定者が150人と書いてあるが、児童生徒数にしておいた方がいいのではないか。 ・3ページの8番のエンブレムは付けない方がいい。業者が出てきた場合にこれも経験あるが、片方がエンブレムを付けていて、しかも付いている方が全体的にはよくないのだけど、エンブレムがとても良い。みんなそれに引っ張られて、それを使わないと言っているのだが、そちらに引っ張られてエンブレムをせっかく作ってきたのにあえて隠してしまった。わからないようにして決めたみたいなこともあるので、読んでいて気になったので、お伝えさせていただく。 ・もう1点は、園児の保護者も投票できるのであれば、園児の保護者は教育委員会に行かないといけないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の3ページにこれもお認めいただければ先般のワーキング会議の中でその投票方法についてご意見をいただいている、小学生、中学生、小中教職員については、教育委員会の展示を見てタブレットで入力するような形をお願いしている。保護者、高校生、高校教職員の投票については、写真とQRコードのようなチラシをお配りして、それから投票していただくというような形を取ろうかと思っている。もちろん学校の方で展示しているとか、教育委員会の方で展示していることは、周知をさせていただきたいと思う。
委員 31	<ul style="list-style-type: none"> ・展示をする場合に仕様書の7ページにあるような提案書を例えば一緒に貼っておくという予定はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらについては試作品と一緒に提出することとなっているので、試作品の前に提案書と価格表は入れる予定をしている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・3番目をお願いした現行の制服を投票の対象にするということについては、いかがするとよろしいか。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の制服を対象にすることについていかがか。しない方がいいというご意見があればしない。どちらでもいいのではという意見ならば見せればいい。それは違うというご意見でも結構である。
委員 32	<ul style="list-style-type: none"> ・これは詰襟と制服についてはあくまでアンケート結果に基づいて浮上してきた話なので、現行のものは基本的に両方同じ数字が上がってきている以上、両方出しておくというのは一応筋ではないか。一応、それがこの前の会議の中で決まった話になる。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでよろしいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・では、仕様書通りにさせていただく。
委員 33	<ul style="list-style-type: none"> ・その時に現行の詰襟、これからの詰襟、ブレザー、前回と同じように詰襟同士が合算するとブレザーを上回るという状況にもまたなり得るということ

	<p>になる。それを決めないとずっと同じ議論をすることになるので、今回は別方式でやって投票結果を見るというスタンスを皆さんで共通認識がないといけない。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今ほどの同様な形で混乱が生じないようにということで確認させておりますが、今度の場合は実物を展示してそれぞれに投票するという事なので、どれかになる。これとこれが一緒のグループが多いからということではなく、どれかになるということで決定に至ればと思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・では制服について事務局から検討してほしいと言われたことについては、よろしいか。では次に体操服についてお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・体操服の仕様の方に移らせていただく。基本的に同じような文言のところを省かせていただく。 <p>(勝山市立中学校指定体操服募集仕様書(案)について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣旨：令和7年度入学の中学1年生から着用可 ・募集する品目 体操服：長袖のトレーニングシャツ、半袖のトレーニングシャツ、フルレングストレーニングパンツ、ハーフパンツ ・体操服選定に関して重要視すること 機能面で吸汗性・速乾性・透け防止に優れていること デザイン面で容易に他校と識別ができること 耐久性や経済性に優れていること 手入れが容易であること ・指定制服募集のスケジュール ・参加資格要件 ・試作品の提出について ・質疑事項 ・審査について ・その他留意事項
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・日程の件もあるので、制服と合わせて少し後ろに下げるという日程を出していただけたらと思っている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・一番気になるのは色である。これはスクールカラーが決まっていないが、例えば今各校は学年すべて同じになっているのではないか。
委員1	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒にする方向になっている。体操服は、先ほどの制服もそうだが、兄弟だと使い回しをしたい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけということで、学年が判別できるような仕組み。ただし3年生の子が卒業して下の子どもに使わせれば1年生として使えるようになるという形でリユースできないと結構負担になってくるので、先ほどの制服もそうだが、そのところをどう考えているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・色別、学年別の仕分けについて、子ども達からもいろいろな意見を聞いて一緒にしてほしいという声もあるし、分けてほしいという声もないわけではないが、現在の中学校の体操服は全学年統一し、学年で色分けをしているようなことはしていないので、基本はどの学年も同じで先ほどおっしゃったように何かついているもので分けられるとかを考えている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回試作で出てくる色がないのでどうしたらいいのか。

事務局	・仕様としてはこれで先般のスクールカラーの投票の中で希望するという結果になっているということについてはお示ししてもいいのではないかと。ちなみに、大野が決めたときには大野の水の色で青色という形でそれっぽい色を提案されたと聞いているので、市民の皆さん方からお勧めいただいたイメージするカラーというものを参考にしながら提案をいただくというふうを考えている。
事務局	・現時点の仕様の中では今のご指摘いただいたことについて決めているわけではないので、今ここで即答ということではないが、今のご意見をいただき、若干考えてもいいのかなと思う。
委員 2	・試作品を色分けして2着とか3着とかで出してもいいようにしたい。
事務局	・今回は色で決めるわけではなくて型とか有効性であったりとか速乾性であったりとかで決めてはどうか。
部会長	・子ども達がパッと見た瞬間に評価すると色で決めるので、やはりある程度同じような形にしておかないと、優位性が出てしまうのが心配である。
事務局	・基本的には仕様書に書かれているように、おそらく3、4点以上のものが出る想定しているので、一時審査の時に絞り込み作業をすることになると考えている。その時にある程度色ぐあいをご協議いただいてもいいのかなと思うが、今ご指摘のように、仕様の段階で色を決めてということをお考えいただければと思う。
部会長	・スクールカラーについて校章で質問はあったか。
事務局	・校章でスクールカラーについて議論をすることになるのは、校章を決める時にどんな色をベースにするかと予想はしているが、それを考えるともう少し後になるのかなと思う。
部会長	・県立高校の校旗があって、学校のいろいろなものもスクールカラーで作ったりする。
事務局	・特に女子が透け防止ということがあるので、色なども合わせて提案していただけるかなと思った。
部会長	・自分が業者なら試作品を出す時にタブレットとか、画面ディスプレイと一緒にいろいろ選べばどうなのか。試作品だけなのか。色は選べるということか。
事務局	・型は決まっているけど、色は選べる。
委員 3	・多分、業者が作る時に実際に塗って出さない。全部3Dとか画面上でデザインして行って色を次々変えて行って色を選ぶ。車にしても次々色が出てくるとか、色をイメージしやすい提案はある。
委員 4	・ハーフジップとかパーカータイプとか、そういったいろいろなものが出てくる想定。子どもだとかぶれるものがある方がいい。そういったことで差別化が出るのではないかなと思うがどうか。
委員 5	・パーカーがあったら選ばないだろう。体育の授業に危険性がある。
委員 6	・確かに西校は昔事故があった。それ以降だと思うが、西校はパーカーはダメという話になっている。
委員 7	・授業用の体操服としては多分ないかなと思う。いろいろな種目を行うので、例えばバスケットとかでパーカーがあると邪魔になる。引っ張られてしまう。
事務局	・今ほどのご意見で、一つは事故防止の問題で危険性につながるということ

	<p>考えると、重視する点の中に安全性に配慮したものであることを加えたい。もう一つは色に関して、ご提案があったように、形で決めて色によって判断されるというようなことで内容に配慮するような意味合いのこと、付け加えるような形で調整させていただくということをお願いしたい。</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書のデザイン面で他校と識別とはどう想定しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生といろいろ話をさせていただいた時に大会や遠足に行った時に体操服が似ている学校があって分からないという意見があったので、他校とすぐ識別できるのがいいし、先生方にもいいのではないかという気がしたので、そのように考えた。
委員 8	<ul style="list-style-type: none"> ・そういうことなら勝高とも一緒にならないようにしてほしい。中学生か高校生か分からないと大変だ。
委員 9	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局にお願いだが、勝山の業者もできると思う。繊維の勝山というぐらいだから、できれば勝山の業者にさせていただきたい。素晴らしいものを作るかもしれないが、例えば生徒の意見を聞きながら作ってみたりすることも勝山だったら可能性がある。だから、この仕様書をどうこういうつもりはないが、例えば企画がなかなか4万円で難しい。5万円かかるのだがという相談にも乗れるようにしてあげていただきたい。価格面では絶対勝てないと思うし、性能面は分からないが、性能面とかデザイン面である程度のことのできるなら、市内のことも考えて今後の手続きを進めていただきたい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご意見はないか。今日の2点以外でもあればいかがか。では事務局をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまお聞きした内容、いただいたご意見を参考に仕様書を仕上げ、皆様方に修正したものをお届けするとともに、提案業者募集を開始したいと思う。その後は、仕様書に従って2月頃を目途に小中高生の投票等を進めていきたいと思っている。なお、議論があったが、仕様書の中で事務手続き上の問題だとか、今ほどいただいたご意見の修正とか、そういったことについては、事務局にご一任いただきたいと思うので、よろしくをお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・お仕事でお疲れの中、今日もたくさん意見をいただいて、感謝する。制服と体操服の今日の件については、今も申し上げたように、事務局においてまた整理をして進めさせていただく。報告にはなるが、選挙があって、勝山市議会がこの九月議会から新しいメンバーでスタートしている。その中でこの中学校の問題については、勝山市立中学校建設特別委員会というものを、議員の皆さんでつくろうと決めた。何が変わるかということ、市会議には常任委員会が2つあって、総務文教厚生委員会というところで中学校の話報告するという形だった。2つ委員会があるので、議員の半分の方に委員会で報告をする形だったのが今度の特別委員会というのは全議員で委員会をやるということで、一度に説明をして意見をもらう。それから建設特別委員会ということで元の議論に戻らないで今後の建設に向けて、あるいは開校に向けてどんどん準備をしているところを後押ししてくださるような趣旨で作っていただいたと思っているので、そういう形で議会対応ということになる。それから、今年度に入って関連の部会は、まず校名と制服ということで集中してご審議をいただいていた。まだこれからも続くが、これ以外にも開校に向けていろいろな課題がまだまだあるので、今後は制服、体操服を含め

て他の課題についてもまた皆様方からご意見をいただきご相談させていただくので、引き続きどうぞよろしくお願いしたい。

事務局 ・これで今日の会議は終わらせていただきたいと思います。この後の予定だが、今回決めた内容をいろいろ講じて各種作業をしていくので、その進行状況に合わせて、部会の開催の方はご案内させていただきたいと思う。今は11月にとしか申し上げられないがまたご通知させていただくので、ご参加の方よろしくお願いしたい。本当にありがとうございました。

資料1. 勝山市立中学校 校名候補の選定について

資料2. 制服・体操服のあり方検討について

資料3. 制服・体操服仕様書